

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		算 数	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力(読み取る力) ・文章題では、読み取る力の不足も原因であると考えられる。キーワードを整理しながら、繰り返し学習経験をさせ、多くの問題にふれ、身につけさせていく。	○読み解く力(読み取る力) ・文章題を図示し、イメージをもたせるようにする。また、問題提示を易から難へ進めるよう具体的に教材の精選をしていく。	
第2学年	○読み解く力(読み取る力) ・時刻と時間を正確に読むことや長さや水のかさの量感、単位換算が苦手な児童が多い。 ・答えは分かるが、それがどのような考え方をして導き出されたものなのか、順序立てて説明したり、自分の考えを表したりすることが難しい。	○読み解く力(読み取る力) ・生活場面の中で学習したことを生かせるように、日常的に時刻や時間、長さや水のかさを意識した活動を取り入れる。 ・キーワードとなる言葉を確認したり、具体物や図などを効果的に用いたりする。 ・自分の考えを友達に説明する機会を多く設定する。	
第3学年	○読み解く力(読み取る力) ・長さやかさの単位換算、かけ算九九の習得が不十分な児童がいる。 ・文章問題を正しく読み取り、イメージしながら図にして表すことが苦手な児童が多い。また、立式はできても、自分の考えや計算の仕方などを説明することは難しい。	○読み解く力(読み取る力) ・日常的に、長さやかさを測る活動を取り入れる。 ・かけ算九九の練習を授業に取り入れる。 ・具体物や図等を用いて、問題場面がイメージできるようにする。	
第4学年	○読み解く力(読み取る力) ・かけ算九九などが定着しておらず、計算に時間がかかる児童がいる。 ・文章問題を正しく読み取り、イメージしながら図にして表すことが苦手な児童が多い。また、立式はできても、自分の考えや計算の仕方などを説明することは難しい。	○読み解く力(読み取る力) ・反復練習によって、より確実に計算できるよう取り組む。 ・具体物や図等を用いて、問題場面がイメージできるようにする。 ・自分の考えを友達に説明する機会を多く設定する。	
第5学年	○読み取る力 ・文章問題を正しく読み取り、イメージしながら図にして表すことが苦手な児童が多い。 ・計算は繰り返し学習することで概ね定着しているが、単元はじめの計算の仕方については取りかかりに苦戦する傾向にある。	○読み解く力 ・キーワードを整理しながら、具体的に状況をイメージして文章題に取り組むようにする。 ・問題文を図に表してかくことをさらに積極的に取り入れていく。 ・既習事項を生かしながら、引き続き反復練習によって、より確実に計算できるよう取り組む。	
第6学年	○解決する力(読み解く力) ・全国学力調査の結果から、問題文から式を立てる際に、数字が出てくる順で立式してしまう傾向がみられた。	○解決する力(読み解く力) ・問題文の意図や内容を意識させる。具体的には、割る数が割られる数よりも大きい数字であっても、単位を変えたり、小数・分数で表せることを理解させたりする。	